

駐輪料金の短時間無料化と撤去による違法駐輪対策に関する社会実験

九州大学大学院 ○学生会員 佐々木 友子
九州大学大学院 正会員 梶田 佳孝

九州大学大学院 正会員 外井 哲志
福岡市役所 正会員 松岡 淳

1. はじめに

福岡市天神地区は慢性的な交通渋滞・違法駐輪による都市問題や、相次いで開業する郊外大型店との競合などの問題を抱えている。天神地区の違法駐輪台数は近年全国1位となっており、放置された自転車が道路空間を占拠し、歩行者の妨げとなっている。

今回の社会実験は、「歩いて楽しい都心づくり」の出発点として、違法駐輪を撤去するとともに、駐輪施設の利用料金を抑えて路上駐輪を減少させるための、官民共同での仕組みづくりを目的とする。このため社会実験では、期間中の違法駐輪の撤去を強化するとともに、中心部の3駐輪場で3時間無料化の料金制度を導入し、路上の駐輪を駐輪施設に呼び込むことによって路上駐輪を減少させる。本報告は、駐輪に関する社会実験の結果をまとめたものである。

2. 社会実験の実施内容

歩道上の違法駐輪が歩行者の通行を妨げ、天神地区の環境を悪化させていることから、きらめき通り駐輪場(1071台)・ソラリアターミナル駐輪場(480台)・天神駐輪場(1502台)等において3時間無料化と違法駐輪の撤去(実験前3回/月程度)を合わせて実施して歩行環境の向上を図った。また、部分的に自転車乗車禁止区間(おしチャリロード)を設け、自転車利用者に協力を呼びかけた(図-1)。

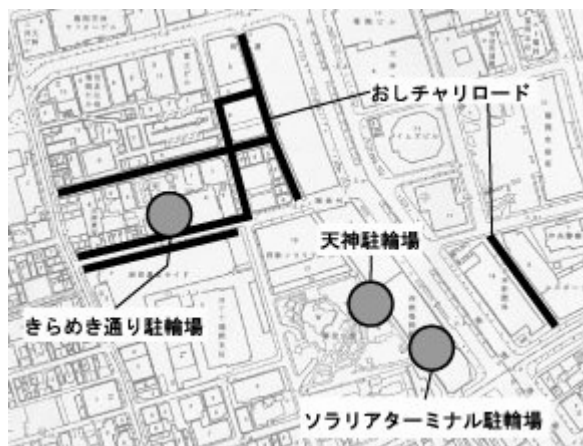


図-1 おしチャリロードと

3時間無料化を実施した駐輪場の位置

3. 調査内容

自転車対策としては、①実験対象区域および周辺部の違法駐輪の撤去、②区域内駐輪施設の短時間無料化、③サザン通り路上駐輪場の一時利用制限、④歩行者天国実施エリアでの自転車走行禁止の4つの施策を行った。また、これに付随して、告知のチラシ10000枚の配布、街頭ビジョン放映、街頭指導、看板設置、メディアによる広報を行った(写真-1,2)。③,④は歩行者天国エリアでの安全快適な歩行空間の確保を目的としたもので、特別の調査を行っていない。以下では①,②の効果についてのみ述べる。



写真-1



写真-2

(1) 違法駐輪撤去の効果

違法駐輪の撤去は11月の平日を中心に天神地区、唐人町地区、薬院地区で行われた。天神地区では11月1日から実験前日までに4回(3日に1回程度の頻度)撤去した。撤去の時間は8時~12時の4時間、1回の撤去の規模はトラック1台で1~6回(60~350台程度)である。

撤去の効果を分析するため、10月27日と11月30日に、天神1丁目と2丁目を中心とする区域の自転車、原付自転車、自動二輪車の各違法駐輪台数を調査した。その結果、10月27日の違法駐輪台数は、総数で1051台(自転車986、原付55、自動二輪10)、11月30日は1064台(自転車994、原付62、自動二輪8)と微増であった。増減を箇所数でみると増加23箇所、減少38箇所、変化なしは22箇所であり、減少箇所が増加箇所を上回っている(表-1)。また、違法駐輪台数が0の箇所

所数は、10月27日には24箇所、11月30日には30箇所であった。5台以下はそれぞれ41箇所、45箇所、10台以下は54箇所、52箇所となっている。このことから、違法駐輪は総数として微増しているものの、違法駐輪場所が限定されつつあることが読み取れる。増減の分布を見ると、違法駐輪が減少した箇所は歩行者天国の実験を行ったエリアに集中しているようであるが(図-2)、撤去場所が明らかにされていないので、撤去と違法駐輪の増減との厳密な関係は不明である。

表 - 1 増減箇所数

	増加箇所数	減少箇所数	変化なし
～10台	11	27	
11～20台	6	8	
21～30台	4	2	
31台～	2	1	
計	23	38	22



	～10台	11～20台	21～30台	31台～
増加	●	●	●	●
減少	○	○	○	○

図 - 2 撤去箇所、調査箇所と違法駐輪台数の増減

(2) 駐輪料金の短時間無料化の効果

次に、駐輪料金の短時間無料化の結果を見ると、天神駐輪場では11月に22093台(有料10344台、無料11749台)の利用があり、10月と比べると、8%ほど上回っている。天神駐輪場では11月以前から3時間無料化を開始しており、この増加分は無料化そのものの効果というより、無料化の広報と違法駐輪撤去の効果であろうと思われる。きらめき通り駐輪場では11月から短時間無料化を行った。11月中の利用は8923台(有料4640台、無料4283台)であり、10月の5443台

(有料)を大きく上回った(64%増)が、有料での利用台数は15%減少している。ソラリアターミナル駐輪場でも11月中に短時間無料化を行った。11月中の利用は5664台(有料4750台、無料914台)であり、10月の4557台(有料)を上回り(24%増)、有料での利用台数も4%増加している(表-2)。

駐輪料金の無料化による収入の変化をみると、10月比では天神駐輪場では5%増、前年11月比では14%増、きらめき通り駐輪場では10月比で15%減、ソラリアターミナル駐輪場では前年11月より35%増、10月より2%増となった。収入がマイナスとなることはほとんどなく、前年同月と比べれば増加が大きいので、減収は考えにくい。

表 - 2 3時間無料化と利用台数、売上額の変化

	料金	10月	11月	伸び率
天神駐輪場	有料	9,719	10,344	1.06
	無料	10,711	11,749	1.10
	台数計	20,430	22,093	1.08
	売上額	1230(千円)	1292(千円)	1.05
きらめき通り駐輪場	有料	5,443	4,640	0.85
	無料		4,283	
	台数計	5,443	8,923	1.64
	売上額	688(千円)	587(千円)	0.85
ソラリアターミナル駐輪場	有料	4,557	4,750	1.04
	無料		914	
	台数計	4,557	5,664	1.24
	売上額	537(千円)	549(千円)	1.02

4. まとめ

今回の実験で実施された①実験対象区域および周辺部の違法駐輪の撤去、②区域内駐輪施設の短時間無料化について、違法駐輪対策としての効果を考察した。

①の違法駐輪の撤去による効果としては、違法駐輪が減少した箇所が歩行者天国の実験を行ったエリアに集中する傾向がみられた。また、違法駐輪は総数として微増しているものの、違法駐輪場所が限定される効果がみられた。このように違法駐輪の撤去は、撤去実施後の駐輪様態に影響を与えているといえる。

②の駐輪料金の短時間無料化の効果としては、利用台数は増加し、収入はほとんど減少しておらず、特に問題は発生していない。

以上から今回の違法駐輪の撤去と短時間無料化の2つの施策の組合せの効果はあったという結論が得られた。